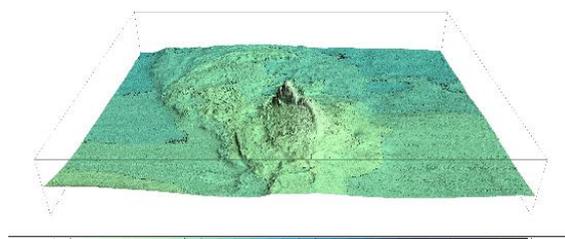
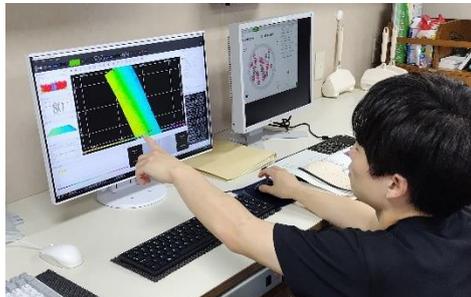


## 海底地形調査を実施

海洋センターでは急潮※による定置網の漁具被害を防止するため、急潮発生の子測精度の向上を目指しており、本年度から沿岸海域に特化した新たな海況予測モデルを開発中です。同モデルを構築する重要因子の1つに海底地形情報がありますが、これまでに府沿岸では詳細な調査が行われていませんでした。そこで、海洋調査船「平安丸」に新たに搭載された海底地形探査装置を使って、今年度から新たなモデルに欠かせない定置網漁場周辺および沖合の海底地形情報の調査に取り組むこととし、令和5年7月10～11日に第一回目となる調査を行いました。同日の調査結果は、現在解析中ですが、今後もより精度の高い海況予測モデルの完成に向けて様々な調査を行っていきます。

※ 急潮:沿岸域で突発的な速い流れ



海底地形調査(左:調査中の船内 PC、右:海底地形の 3D 解析図)